

# 2013年の 雨

ヤマダヒフミ

## 2013年の雨

雨が降っていると

みんなは傘を差した

だからって、雨は傘を憎んだりはしない

雨はただ、降っているだけ

忙しいサラリーマンはタクシーを降りると

天を見て、チッと舌打ちした

そして、小走りで駅構内へと

入っていった

その時、同じ雨は

メキシコの作物に潤いを与えていた

その作物は、この夏に

何万人かの命を救うのかもしれないが

雨が降っていた

誰かが僕の肩を叩いた

僕は振り向いた

それは見知らぬ誰かだった

世界の上には

雨が降っていた

人間はその為に、大きな傘を作った

人間全部が覆えるくらい大きな傘を

だけど、雨はやっぱり

のほほん顔で降り続けていた

